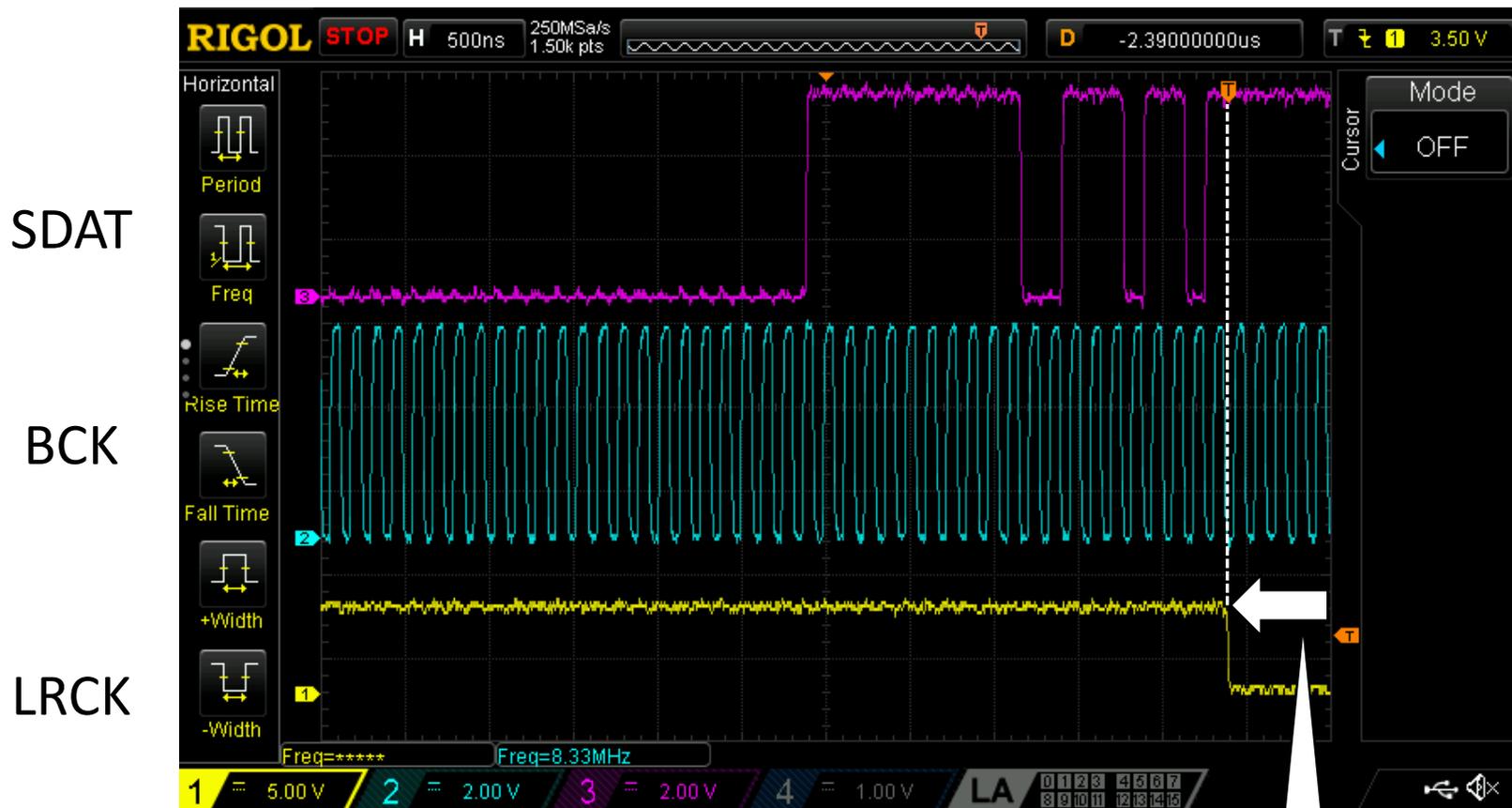


## ・発音時の波形1(パーシスタンス表示)



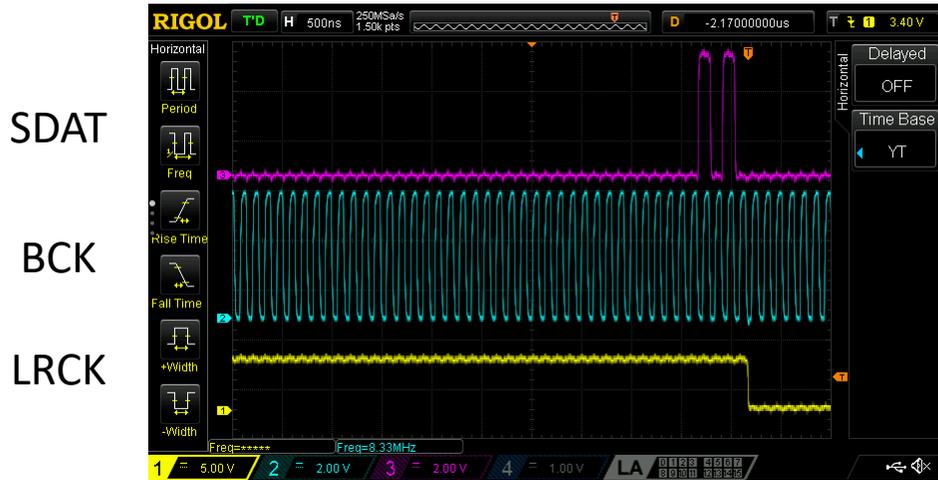
SDATは20bit幅で変化するが(A)  
18bitDACが使用されているため(B)  
MSBの2bitが無効となる(C)

## ・発音時の波形2(シングルトリガモード)

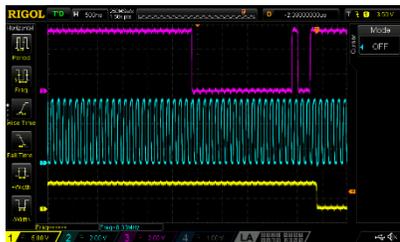


LRCKが切り替わると、  
SDATは直前の状態を保持する  
(次にSDATが20bit出力開始する  
まで継続する)

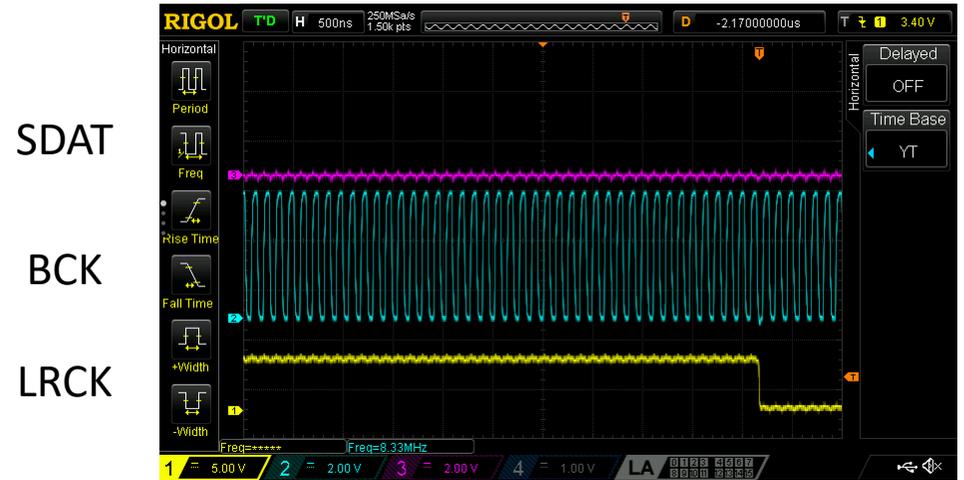
## ・無音時の波形1



- ・ 電源投入直後の波形(パーシスタンス)
- ・ この状態で発音させ、再度無音状態になった際、SDATはこの波形に落ち着くこともあるし、別波形(↓)に落ち着くこともある。



## ・無音時の波形2



- ・ 起動後、[SELECT + INSTRUMENT<>]同時押しで、工場出荷時の状態に戻した波形(パーシスタンス)
- ・ この状態で発音させると、再度無音状態になればSDATはこの波形に落ち着く(施行した範囲内では)